



- 学びを深め、創造力と実践力を養う（知）
- 互いを認め、誠実に生きる（徳）
- 豊かな心と健康な体をつくる（体）
- 地域の一員、国際社会の一員として自立する（公・開）

大切に思うこと

合澤依希子

今年度前半の様々な学校行事が終わりました。定期試験も実施されました。一年生の皆さんは、初めての定期試験に向けて、しっかり準備をして臨むことができたでしょうか。5月の体育祭、6月の宿泊学習や校外学習などでは、どの学年も実行委員の皆さんを中心に積極的に取り組む姿がとても印象的でした。また様々な場面で、互いに感謝の気持ちを伝える姿を見ることができました。

保護者や地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力、そして日頃から子どもたちを温かく見守っていただいていることに、心より感謝申し上げます。

さて、先日行われた生徒総会では、生徒同士で大変活発な議論が交わされました。大きな議題となったのは「制服着用の選択化」です。詳細については今後発行される生徒会だよりをご覧くださいと思いますが、数年前に「上中意見箱」に寄せられた意見をもとに、去年の生徒アンケート結果も踏まえ、三度にわたる試行と議論を重ねてきた取組が、今回の総会で可決されました。生徒の皆さんが、一つ一つの議題に対し「自分たちの学校をよりよくするためにはどうすればよいか」「自分たちにできることは何か」を主体的に考えている姿を、大変頼もしく、また嬉しく感じました。

現在、サッカーのワールドカップにおける日本代表の活躍が大きな話題となっていますが、JFAとJリーグが掲げる「リスペクトプロジェクト」をご存じでしょうか。リスペクトとは「尊敬」や「敬意」を意味しますが、サッカー界ではそれにとどまらず、「常に全力を尽くしてプレーすること」をフェアプレーの原点と捉えています。そして、サッカーに関わるすべての人や物を「大切に思うこと」として、その精神を広く共有しようとする取組です。日本の選手やサポーターの行動には、このリスペクトの精神がよく表れていると感じます。

生徒の皆さんの「学校をよりよくしようとする心」もまた、リスペクト、すなわち「人を大切に思うこと」「学校を大切に思うこと」に通じるものです。一生懸命取り組むこと、仲間を応援すること、拍手でその努力を称えること— こうした思いやりある行動は、相手を大切にするだけでなく、「自分を大切にすること」にもつながります。

私自身、これからも、さまざまな教育活動を通して、皆さん一人ひとりの「よさ」と出会いながら、生徒の皆さんを、そして学校を大切に思う心を育ててまいります。

[参考資料]

https://www.jfa.jp/football_family/respectfc_japan/img/respect.pdf

～修学旅行(3年生)～

修学旅行当日、前日から降った雨は弱まり、予定通り新横浜駅を出発しました。一般の方と同じ車両だった1組のみなさんのマナーはとても良く、上菅田中学校生として素晴らしい態度でスタートを切ることができました。京都駅に到着後バスに乗り換え、奈良公園に向かいました。奈良公園に到着後はまず、東大寺大仏殿に向かいます。途中の東大寺南大門では、8m以上もある迫力満点の金剛力士像を見学しました。南大門を抜け、クラス写真を撮り終えた後は班ごとに大仏殿に入りました。大仏殿にある「柱ぐり」の穴は大仏様の鼻の穴と同じ大きさと言われており、人が通れるほどの大きさであることを体験した人もしばしばいました。奈良公園内班別自主行動後、バスで再び京都に向かい、河村能舞台のみなさんによる能体験を行いました。実際に衣装を着させていただいたり、能面をつけたり、足袋を履いて能の歩き方を練習したりと、とても楽しく伝統芸能を学びました。最後は「八島(屋島)」という演目を鑑賞しましたが、見ている人たち全員が息をのみ、ひとときも目が離せないほど圧巻の歌舞劇でした。

修学旅行2日目は京都市内班別自主行動。事前に計画しているコースで寺社を巡ります。この自主行動で素晴らしかったところは、清水寺のチェックと宿の帰着チェックに全ての班が時間通りにできたことです。スムーズに進んで早く終わってしまったり、へとへとでもう歩けない班もありましたが、有意義な班別自主行動となりました。最終日はクラス別コース行動。1組は平等院、2組は貴船神社、3組は神護寺に行きました。最後は嵐山で全クラス合流し、竹林の風景を楽しみながら散策しました。

3日間を通して、公共の場でのマナーを意識し、時間や約束を守りながら行動することができました。訪れた先々で温かい言葉をかけていただく場面もあり、一人ひとりが学校の代表として自覚をもって過ごしていたことを嬉しく感じています。「楽しかった」だけでなく、「集団として成長できた」と胸を張れる修学旅行となりました。準備委員のみなさん、先生方、様々なスタッフのみなさま、本当にありがとうございました。そして、お子様を笑顔で送り出して下さった保護者のみなさまにも、厚く御礼申し上げます。



～遠足(1年生)～

6月11日、前日までの梅雨空を避けて、さわやかな気候の中、1年生は「こどもの国 校外学習」に行きました。「仲間との協力」「平和について考えること」を目的に、野外調理や平和学習オリエンテーリングを行いました。活動中の生徒たちも「調理も片付けも協力すると早く終わる!」「一度、意識すると急に弾薬庫がいっぱい目に入ったようになった」などと、学びや新たな見方を得た発言が印象的でした。また、遠足後の振り返りから、充実した学習になったことを感じさせる感想が多くありました。生徒の振り返りの一部を紹介します。

～野外調理活動～

- おなかがすいていてたくさんカレーを盛りすぎて、おなかいっぱい後悔しました。
- カレーは青春の味がしました。
- 銀河で一番おいしいカレーでした。
- 自分の仕事をしながら洗い物とか片付けとかして積極的に行動できたかなと思います。

～平和学習を通して～

- 戦争中はこの景色は、弾薬庫がたくさん並んで、兵士たちが大勢いたと思った。
- 平和とは、みんなが毎日、学校に行ったり、公園で友達と遊んだりできることだと思った。みんなが争いの心をなくして、一人ひとりが尊重し合うことが大切だと思う。

～活動全体を振り返って～

- 全体的な振り返りはとにかく楽しかったです。
- こうやって良い思い出ができたのは班のメンバーとか、たくさん計画立ててくれた仲間のおかげです。自然教室と修学旅行はもっといろいろなところを回ったり、たくさんのことを調べたりするから、より仲間と絆を深めたり、知ったことを今後に活かしたりしたいです。
- 実はローリングサイクル2回乗りました。
- ボートに乗って、迷子になりました。